

たっち

平成16年
(2004年) 12/10
年2回発行

第4号

編集・発行／立川市教育委員会

〒190-0022 立川市錦町3-2-26

☎042(523)2111(市役所代表)

◀立川市ホームページ▶

<http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/>

教育だよりの「たっち」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

教育に期待する人づくり

立川市長 青木 久



立川の町は、立川駅周辺と基地跡地のまちづくりが総仕上げの段階に入り、多摩地域の中心都市として大きく発展しています。

こうしたまちづくりの成果を

生かし、二十一世紀の新しい立川を築いていくためには、市民参加とそれを支える人材の育成が重要であり、市では「まちづくりは人づくりから」を基本テーマに掲げ、人材の育成を最重要課題として取り組んでいます。地域や社会に貢献する有為な人材の育成に教育の果たす役割は重要であり、教育はまさに人づくりの原点です。

社会の変化の激しい時代にあ

立川教育フォーラムのご案内

日時：平成17年1月19日(水)午後1時20分受付開始

場所：立川市市民会館「アミューたちかわ」大ホール

学校・家庭・地域が協力して立川の教育の充実を目指しましょう

立川市教育委員会では、教育という「人づくり」を通して、市民と連携・協力し、共同体としての「まちづくり」を目指しています。今回、市立の小・中学校の教育の実践を紹介し、子どもの教育への理解と関心を高めていただく「立川教育フォーラム」を開催します。

子どもの教育は、学校のみではできません。家庭・地域・学校が連携・協力をしてこそ子どもたちの教育の充実を図ることができます。市立小・中学校では、体験活動や奉仕的な活動、学力の定着を目指す授業の工夫・改善など新しい取組に挑戦しています。また、中学校は来年度から全校で二学期制に取り組み、授業日数の十分な確保を工夫していきます。

当日は、学校教育の指針に基づき「確かな力」「やさしい心」「個を輝かせ」「社会のために」に分けて小・中学校8校が、発表を行います。その後、文部科学省の永田繁雄先生から「確かな学力と豊かな心」についての講演があります。

発表校以外の21校の小・中学校は、ポスターセッションにて各学校の活動を紹介するので、ぜひご覧ください。

ぜひご覧ください。市内全校の教育活動に触れることができ、全校の教育活動を紹介した資料をお配りします。ご来場をお待ちしています。

○開場：午後1時20分

ポスターセッション

大ホールのロビーにて
(1時30分～2時10分)

小学校14校中学校7校の
教育活動を学校紹介

フォーラム開会
(2時15分)

I あいさつ

II 実践発表(2時25分)

①立川第一中学校

「学習意欲の向上を目指して」

②けやき台小学校

「分かりやすくまとめ
伝える力を育てる」

③西砂小学校

「児童がすすんで
取り組む「読む活動」

④幸小学校

「認め合い、高め合い、
伝え合う幸小の子どもの育成」

つて、確かな学力の向上と豊かな心を育てる教育の充実が求められており、従来の「読み、書き、計算」だけでなく、子どもたちの自主性、自律性や自発性を育てていくことが求められています。習熟度別指導などきめ細かな指導や学習意欲と学びの質の向上、いじめ・不登校への対応など一人ひとりの子どもたちに応じた指導を実施することが重要です。

間もなく「立川教育フォーラム」が開催されます。このフォーラムでは各学校の様々な実践活動の成果を紹介して、立川市

【個を輝かせ】

⑤第二小学校

「言語による表現力を高めるための指導法の工夫」

⑥新生小学校

「共に学び、一人一人が
輝く児童の育成」

【社会のために】

⑦立川第九中学校

「共生をめざして」

⑧上砂小学校

「豊かな体験活動で地域を愛し、
地域とともに教育を進める」

III 講演会(3時50分)

演題

「確かな学力」と「豊かな心」

講師：文部科学省教科調査官
永田 繁雄 先生

IV 質疑応答

V 謝辞

VI 指導課 内239



コミホームでの体験活動(七小)

『教育委員会』ってなに？

①『教育委員会』とは

市議会の同意を得て市長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関。教育委員の任期は4年。「委員長」は5名の委員の中から選挙で選出され会議を主催し委員会を代表します。

また、委員会の権限に属する全ての事務を管理執行するため委員会は委員の中から「教育長」を選出し任命します。

②『教育委員会の会議』とは

会議は、定例会と臨時会があります。定例会は原則として毎月第2・4木曜日に、臨時会は必要に応じて開催されます。学校教育(市内小・中学校に関すること)やスポーツ、公民館、図書館などの生涯学習に関する



平成16年7月教育委員会定例会

新生小学校

改修工事が進んでいます

来年1月末の完成を目指し、新生小学校(旧南富士見小学校)の改修工事が進んでいます。

前号でもお知らせしましたが、新しい校舎は、様々な学習形態に対応するため、教室と廊下の間仕切壁を開放することができ、オープンスタイルの教室となります。

また、図書室は2教室分の広いスペースを確保するとともに、半円形の書架などを用意すること、子どもたちが親しみやすく、使いやすい施設となります。

さらに「生活の場としての学校」の視点から、トイレは、清潔で明るくなるよう改修を行い、室内・廊下は、木のぬくもりが感じられるよう内装に配慮してい



改修中の新生小学校(図書室)



地域とともに 学校教育の充実を



地域の力を取り込んだサマースクール
第十小学校
子どもたちの夏休みの生活を充実させるため始まったサマースクールも3年目を迎えました。教員の熱意で、講座数21(延べ約60講座)参加児童数 延べ約200名と年毎にその内容が充実し、特色ある教育活動として定着しました。

学校では、地域・保護者の協力を求め講座内容を充実させるため、参加を呼びかけられています。今年は、「イカの解剖」「ペンシルバニアでの造形遊び」「琴の演奏」「石けんを使った実験」等、地域の造詣の深い方による講座が企画されました。参加したいと思われる方は、来

年ぜひご参加下さい。

楽しかった町探検

10月15日に、2年生は、生活科の「町のなぞを知りたいね」の学習で、立川駅前を探索してきました。当日は、保護者の方の多数の協力をいただきました。子どもたちは道路標識や歩道の点字ブロック、お店の看板などを、目を輝かせてながらスケッチしていました。



みんな育てる第三小

各学年で、家庭や地域と連携した教育活動に取り組んでいます。内容も、国語、算数、社会、理科、生活、総合、体育、音楽、図工、家庭科など幅広い分野に渡っています。低学年では、よりきめの細かい指導を行うため算数や国語などで保護者の支援を取り入れ学習成果を上げています。



活力を生む 支援ボランティア

本校は、保護者、地域の方々に学習指導、環境整備の面で支援をいただいています。学習面では、算数と理科授業に9名、英語活動に5名、パソコン指導に7名の方が入り、子どもたちの関心やつづきに対応しています。環境面では、花植え活動に13名、図書室整備に18名が参加し、よりよい学校環境づくりをしています。これらの支援は学校に活力を生み、より充実した教育活動へとつながっています。



「生きる力」の地域版

本校の特色は「共感、確かな学び、連携」。連携では、「総合的な学習の時間」に地域の専門家を招き、全員が菊栽培に挑戦し、人とのふれあいや生命の大切さを学習しています。台風で苦勞もありましたが、艶やかな開花を夢見ています。



秋季チャレンジ講座

本校は2学期制を生かし秋休み期間を活用して秋季チャレンジ講座を実施しました。秋休み期間中の子どもたちの居場所づくりとして、また、豊かな体験の機会として、昨年度に続いての講座です。

今年も20講座を開催し、延べ、約90名の児童が積極的に参加しました。地域・保護者の方々に、講師やお手伝いとしてご支援・ご協力いただきました。

地域・保護者・教職員が連携し合い実施できた秋季チャレンジ講座でした。今後継続していききたいと思っています。



地域学習ボランティア

地域学習ボランティアの方々に英語活動、クラブ活動、習字、読み聞かせ、中休みの昔遊び、家庭科、校外学習での補助等、ご協力をいただいています。



地域に根ざし、地域と共に

本校では、地域の特質を生かし「地域と共に育つ六つ子」を特色として、活動を進めています。地域の自然や人材も貴重な教室・教師です。6年生は「福祉」をテーマに、「今、自分たちに出来る事」を探し、地域の年長者・シルバー人材センターとの交流、高齢者疑似体験等を通して、高齢者と共生できる地域社会を築く大切さを学んでいます。



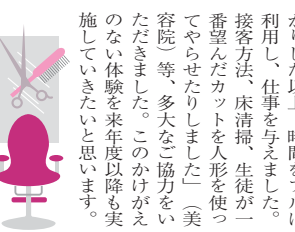
夏休み体験教室

子どもたちが、楽しい夏休みが過ぎるようにと、今年も5回にわたって、地域の方々に体験教室を開いていただきました。どの教室も人気がありました。延べ228名参加しました。料理、縫い物・うちわづくり・ちぎり絵・竹とんぼ・ゲーム・すいか割りなど、手取り足取り教わり、楽しい一日を過ごすことができました。



職場体験

本校では、職場体験を2学年で実施しました。保育園、書店、美容院など、33の立川周辺の職場にお願いし、生徒たちは、学校生活では得られない体験ができ、充実した表情で帰校しました。「たけな」で帰校しました。お客様を第一に考えること、毎日働いている人たちの苦勞がわかりました(生徒の感想)。体験先の方も、「私もおあずかりした以上、時間をフルに利用し、仕事を与えました。接客方法、床清掃、生徒が一番望んだカットを人形を使つてやらせたりしました」(美容院)等、多大な協力をいただきました。このかけがえのない体験を来年度以降も実施していきたいと思っています。



確かな学びのために

本校では、学習内容の基礎基本の確実な定着を図るために、学習支援者を導入した授業を積極的に取り入れています。今月は、1、2年生の各クラスに、1週間おたり保護者や地域の方が入り、算数の学習支援をお願いしています。保護者、地域との連携のもと、一人ひとりの確かな学びに向け、取り組んでいます。



支援者と飯盒炊さん体験も

本校では、書写、手話、俳句、戦争の他体験談など各教科の授業の他に農業体験活動など、年間延べ1300名の支援者の方に入っています。元教員や地域の方、そして保護者との協力により、子どもたちは新しい知識や学ぶ楽しさが倍増することを楽しんでいます。写真は、5年生が八ヶ岳に行く前の飯盒炊さん体験の様子です。



土から学んだこと

10月15日、七中校区近隣の農家の方28軒に依頼し、第1学年生徒全員で農業体験を行いました。班ごとに酪農・野菜作り・植木栽培などの実際の仕事に携わらせてもらいました。生徒は普段、土にまみれることが少ない分、新鮮な気持ちで取り組んでいました。地域の方との関わりをもつことで、責任感・仕事の苦勞ややりがいを学びました。



地域に活かされる農業体験学習

立川第九中学校
九中農園は今年で5年目を迎えました。地元の農家の方から無償で貸し借りした畑で、「自然と共に」を1年生のテーマにJA十番組の皆さんから年間を通して指導をいただいています。今では里芋をはじめ12種類の作物を栽培しています。また、育てた葉牡丹は地域の公共施設・保育園・老人ホームに寄付をしています。



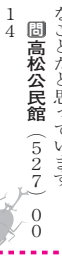
立川市立小・中学校学校公開日等

立川市の小・中学校では、保護者や市民に教育活動を公開しています。お近くの学校の公開日等にお出かけください。くわしくは各学校にお問い合わせください。

月	日	曜	学校	行事等
12	6	土	第七小	学校公開日(全日)
12	7	日	第七小	持久走大会(午前)
12	8	月	大山小	マラソン大会(午前)
12	9	火	西砂小	音楽発表会(午前)
12	10	水	幸小	持久走大会(午前)
12	11	木	幸小	セーフティ教室(午後)
12	12	金	幸小	研究発表会(午後)
12	13	土	幸小	道徳授業地区公開講座(午後)
12	14	日	幸小	書き初め展
12	15	月	幸小	書き初め展
12	16	火	幸小	書き初め展
12	17	水	幸小	書き初め展
12	18	木	幸小	書き初め展
12	19	金	幸小	書き初め展
12	20	土	幸小	書き初め展
12	21	日	幸小	書き初め展
12	22	月	幸小	書き初め展
12	23	火	幸小	書き初め展
12	24	水	幸小	書き初め展
12	25	木	幸小	書き初め展
12	26	金	幸小	書き初め展
12	27	土	幸小	書き初め展
12	28	日	幸小	書き初め展
12	29	月	幸小	書き初め展
12	30	火	幸小	書き初め展
12	31	水	幸小	書き初め展
1	1	木	幸小	書き初め展
1	2	金	幸小	書き初め展
1	3	土	幸小	書き初め展
1	4	日	幸小	書き初め展
1	5	月	幸小	書き初め展
1	6	火	幸小	書き初め展
1	7	水	幸小	書き初め展
1	8	木	幸小	書き初め展
1	9	金	幸小	書き初め展
1	10	土	幸小	書き初め展
1	11	日	幸小	書き初め展
1	12	月	幸小	書き初め展
1	13	火	幸小	書き初め展
1	14	水	幸小	書き初め展
1	15	木	幸小	書き初め展
1	16	金	幸小	書き初め展
1	17	土	幸小	書き初め展
1	18	日	幸小	書き初め展
1	19	月	幸小	書き初め展
1	20	火	幸小	書き初め展
1	21	水	幸小	書き初め展
1	22	木	幸小	書き初め展
1	23	金	幸小	書き初め展
1	24	土	幸小	書き初め展
1	25	日	幸小	書き初め展
1	26	月	幸小	書き初め展
1	27	火	幸小	書き初め展
1	28	水	幸小	書き初め展
1	29	木	幸小	書き初め展
1	30	金	幸小	書き初め展
1	31	土	幸小	書き初め展
2	1	日	幸小	書き初め展
2	2	月	幸小	書き初め展
2	3	火	幸小	書き初め展
2	4	水	幸小	書き初め展
2	5	木	幸小	書き初め展
2	6	金	幸小	書き初め展
2	7	土	幸小	書き初め展
2	8	日	幸小	書き初め展
2	9	月	幸小	書き初め展
2	10	火	幸小	書き初め展
2	11	水	幸小	書き初め展
2	12	木	幸小	書き初め展
2	13	金	幸小	書き初め展
2	14	土	幸小	書き初め展
2	15	日	幸小	書き初め展
2	16	月	幸小	書き初め展
2	17	火	幸小	書き初め展
2	18	水	幸小	書き初め展
2	19	木	幸小	書き初め展
2	20	金	幸小	書き初め展
2	21	土	幸小	書き初め展
2	22	日	幸小	書き初め展
2	23	月	幸小	書き初め展
2	24	火	幸小	書き初め展
2	25	水	幸小	書き初め展
2	26	木	幸小	書き初め展
2	27	金	幸小	書き初め展
2	28	土	幸小	書き初め展
2	29	日	幸小	書き初め展
2	30	月	幸小	書き初め展
2	31	火	幸小	書き初め展
3	1	水	幸小	書き初め展
3	2	木	幸小	書き初め展
3	3	金	幸小	書き初め展
3	4	土	幸小	書き初め展
3	5	日	幸小	書き初め展
3	6	月	幸小	書き初め展
3	7	火	幸小	書き初め展
3	8	水	幸小	書き初め展
3	9	木	幸小	書き初め展
3	10	金	幸小	書き初め展
3	11	土	幸小	書き初め展
3	12	日	幸小	書き初め展
3	13	月	幸小	書き初め展
3	14	火	幸小	書き初め展
3	15	水	幸小	書き初め展
3	16	木	幸小	書き初め展
3	17	金	幸小	書き初め展
3	18	土	幸小	書き初め展
3	19	日	幸小	書き初め展
3	20	月	幸小	書き初め展
3	21	火	幸小	書き初め展
3	22	水	幸小	書き初め展
3	23	木	幸小	書き初め展
3	24	金	幸小	書き初め展
3	25	土	幸小	書き初め展
3	26	日	幸小	書き初め展
3	27	月	幸小	書き初め展
3	28	火	幸小	書き初め展
3	29	水	幸小	書き初め展
3	30	木	幸小	書き初め展
3	31	金	幸小	書き初め展

子ども対象講座 「高松子も科学遊び」

「子どもたちの理科離れ」が言われている中、高松公民館に、今年1回、小学4年生16名、16人の理科好き子どもが集まってきました。「高松子も科学遊び」の隊員たちです。科学遊びを通して、楽しみながら科学のしくみや不思議に触れようというもので、東京学芸大学理科教育教室の学生さんが、毎回5・6人、交替で講師を務めています。子ども達にとって学生講師は気軽に質問できる頼りになるお兄さん、お姉さん。教師を目指す彼らにとっても、格好の教育実習の場となっているようです。今年度は、発光ダイオードのミニライトを使った光の三原則の実験や、カプトムシの観察をしました。観察で使ったカブトムシは、指導する学生さんが持ってきた死骸でしたが、なぜ茶色いのか、ウンチはこでずるのか(糞を食べるから)おしっこだけでウンチはない、爪が3本あった、口はたわの形をしていたなど、じっくり観察するといろいろな発見がありました。そして夏休みの「シャボン液を作ろう」の実験では、丈夫なシャボン玉を作ろうと、基本のシャボン液に納豆やはちみつ、ラム酒などを混ぜてみました。長く飛んだもの、上手くいかなかったもの、実験は試行錯誤して広がっています。何も言わずとも、子どもたちの中から自然に「どうしてかな?」「今度こそこうしてみたい!」と声があがるのは、素敵なことだと思っています。



新学校給食共同調理場建設計画を答申

教育委員会は、立川市学校給食運営審議会(会長 宇都宮達三)第十小学校校長に、本年4月23日、「新学校給食共同調理場建設計画について」諮問し、10月15日に答申を得ました。答申の概要は以下のとおりです。
1 一時的な対応について
現一施設の老朽化及び児童数の減少から、一時的に統合した新施設を建設すべきです。建設場所は旧多摩川小学校の跡地に最適の候補地ですが、地域住民の意向を十分反映するための機会と時間を確保することが必要です。また、衛生的で安全が保障される、最上級の施設 設備とすることを要望します。
2 効率的な運営について
子供たちの健全な成長を願う

